

# 広島県感染症発生動向月報

[ 広島県感染症予防研究調査会 ]  
( 平成29年8月解析分 )

## 1 今月のトピックス

### (1) 梅毒の流行について

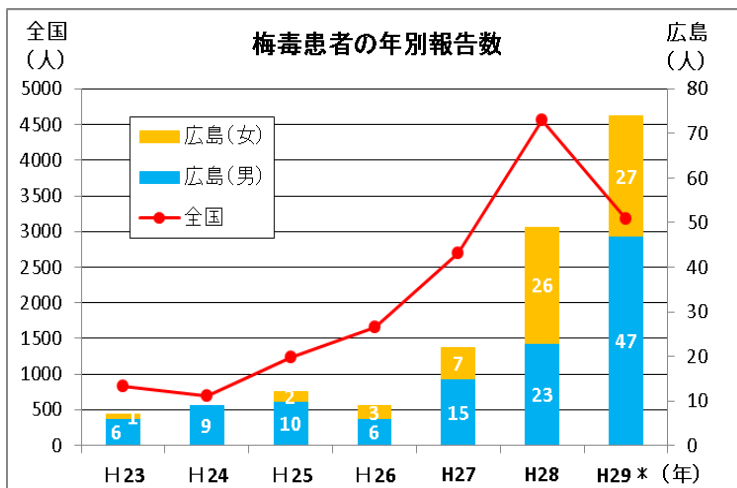
🔍 梅毒 Q & A 🔍 検索

全国的に梅毒の報告数が増加しています。感染者は男性が多いですが、近年女性も増加しています。

広島県においても、平成28年の報告数は過去10年間で最も多い49人となり、また、半数以上を女性が占めていました。

さらに本年は、7月末までに74人の報告があり、既に昨年を上回っています。

感染が疑われる症状がみられた場合には、早期に医師の診断・治療を受けることが重要です。また、梅毒に感染していたとわかった場合は、周囲で感染の可能性がある方（パートナー等）と一緒に検査・治療を受けるようにしましょう。



\*平成29年は7月末現在

【病原体】梅毒トレポネーマ

【感染経路】感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触（主に性的接触）

【予防方法】コンドームの使用。ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などで、感染が起こる可能性があります。

【症状】感染したあと、経過した期間によって、症状の出現する場所や内容が異なります。

感染後約3週間： 感染がおきた部位（主に陰部、口唇部、口腔内、肛門等）にしこりがでることがあります。また、股の付け根の部分（鼠径部）のリンパ節が腫れることもあります。

感染後数か月： 病原体が血液によって全身に運ばれ、手のひら、足の裏、体全体にうっすらと赤い発疹が出ることがあります。（バラ疹）

感染後数年： 皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍（ゴム腫）が発生することがあります。また、心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ、場合によっては死亡に至ることもあります。

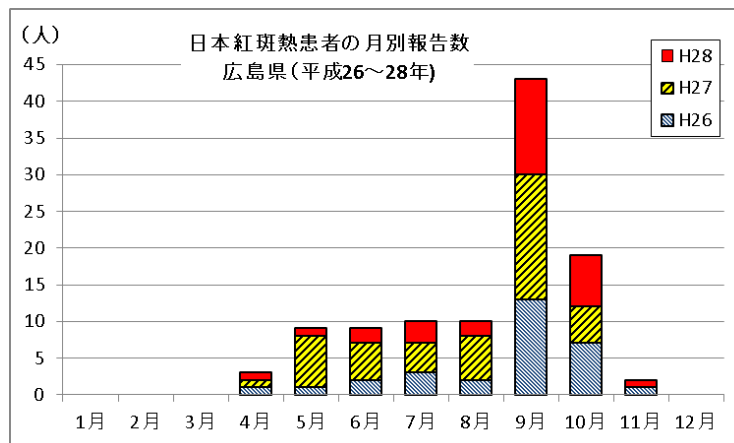
### (2) 日本紅斑熱について

🔍 日本紅斑熱 広島県 🔍 検索

広島県内では、例年9月、10月を中心に、日本紅斑熱の患者数が増加します。過去3年においては、この2か月の合計患者数が、1年間に発病する患者数の約6割を占めていました。

肌を露出した軽装での、レジャーや農作業などの野外活動は控えましょう。

日本紅斑熱の感染経路、症状、治療、予防等に関しては、広島県のホームページを御覧ください。



## 2 疾患別定点情報 【速報値】

### (1) 定点把握(週報)五類感染症

平成29年7月分(平成29年7月3日～平成29年8月6日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	10	0.02	0.01	↓	11	ヘルパンギーナ	413	1.15	2.21	↑
2	RSウイルス感染症	159	0.44	0.20	↑	12	流行性耳下腺炎	69	0.19	0.65	↘
3	咽頭結膜熱	169	0.47	0.78	↘	13	急性出血性結膜炎	3	0.03	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	639	1.78	1.69	↘	14	流行性角結膜炎	86	0.91	0.95	↘
5	感染性胃腸炎	1,598	4.44	4.24	↘	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	94	0.26	0.57	→	16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.06	
7	手足口病	2,904	8.07	3.09	↗	17	マイコプラズマ肺炎	12	0.11	0.23	→
8	伝染性紅斑	20	0.06	0.22	→	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.01	
9	突発性発しん	139	0.39	0.56	↘	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	—	
10	百日咳	7	0.02	0.04							

### (2) 定点把握(月報)五類感染症

平成29年7月分(7月1日～7月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	46	2.00	2.35	↘	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	72	3.43	4.52	→
21	性器ヘルペスウイルス感染症	17	0.74	0.83	↘	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	8	0.38	0.54	
22	尖圭コンジローマ	15	0.65	0.71	→	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.13	
23	淋菌感染症	13	0.57	0.84	→						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

#### 発生記号(前月と比較)

<b>急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)</b>	急増減	↑	↓	1:2以上の増減
○急増疾患 RSウイルス感染症 (0.05 → 0.44)	増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
ヘルパンギーナ (0.42 → 1.15)	微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
○急減疾患 インフルエンザ (0.04 → 0.02)	横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患, 月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

## 3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	29	結核(29)〔西部保健所(1), 西部東保健所(2), 東部保健所(3), 広島市保健所(16), 呉市保健所(4), 福山市保健所(3)〕
三類	7	腸管出血性大腸菌感染症(7)〔西部保健所(1), 西部東保健所(2), 北部保健所(1), 広島市保健所(1), 福山市保健所(2)〕
四類	14	ボツリヌス症(1)〔福山市保健所(1)〕, レジオネラ症(8)〔東部保健所(5), 広島市保健所(1), 呉市保健所(1), 福山市保健所(1)〕, 重症熱性血小板減少症候群(1)〔東部保健所(1)〕, 日本紅斑熱(4)〔東部保健所(1), 呉市保健所(2), 福山市保健所(1)〕
五類全数	25	アメーバ赤痢(4)〔西部保健所(1), 広島市保健所(2), 福山市保健所(1)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(3)〔北部保健所(1), 呉市保健所(1), 福山市保健所(1)〕, 急性脳炎(2)〔広島市保健所(2)〕, 後天性免疫不全症候群(1)〔呉市保健所(1)〕, 梅毒(15)〔西部保健所(1), 東部保健所(1), 広島市保健所(9), 呉市保健所(1), 福山市保健所(3)〕